

新年度を迎え、高台病院の医療体制もさらに進化していきます。地域の皆さまに寄り添い、より安心していただける病院を目指して、スタッフ一同取り組んでまいります。

浅居医師よりご挨拶

4月1日付で高台病院に勤務することになりました浅居一郎です。

専門は麻酔科で主に呼吸循環管理を約20年間、埼玉県中心に勤務してきました。その後縁あって厚木市にある介護老人保健施設で施設長を17年勤めました。

ここ10年で日本における不均衡な高齢化社会と社会保険のあり方、また国の方針の変化などにより、今後医療法人勝又 高台病院グループが行っている総合的地域医療のニーズは高まる一方と考えます。急性期とは真逆の医療も今後とても重要であり、その一端を担えればと思っております。

医師 浅居 一郎



統括看護部長よりご挨拶

この度、医療法人勝又高台病院、あじさいの郷、足柄きんとき在宅クリニックの3施設を統括看護部長として管理することになりました。宜しくお願い致します。

神奈川県は平均寿命は男性83歳、女性88歳（2022年）です。日本の高齢化問題は医療・介護の逼迫、深刻な労働力不足が支える構造となります。医療法人勝又 高台病院グループも、この状況に対応できる組織体制を整えなければなりません。このため、DX化を図り効率的、効果的に業務が遂行できるように組織体制を整えております。

また、看護部では海外人材の方々がこの組織で働きやすい環境を作れるように、日本語教室「学びの扉」を開催し、外国人の方々が社会に共存しやすい職場環境を作っています。

医療法人勝又高台病院グループは、今後も社会環境に柔軟に対応できる組織となることと、質の高い医療・看護・介護が提供できる体制を整えて参りますので宜しくお願い致します。

認定看護管理者・統括看護部長 平塚 世津子



横山看護部長よりご挨拶

この度、医療法人勝又 高台病院看護部長に就任いたしました。

私はこれまで急性期医療、リハビリテーション期に携わり、多くの患者さんと向き合ってきました。その経験を通して、長期にわたり生活を支える療養病院の重要性を強く感じ、高台病院を選びました。

患者さんの高齢化・重症化が進む中、高台病院は『「生きる」を全力で支える病院であり続けたい』という理念を掲げ、介護度の高い患者さんを受け入れています。

専門職としての知識・技術の提供とともに、患者さん一人ひとりの気持ちに寄り添い、「生きる」を支える看護・介護を実践してまいります。

今後も地域の皆さまから信頼される医療の提供を目指します。
どうぞよろしくお願いいたします。

看護部長 横山 須美江



地域連携研修会を開催しました

3月6日、開成町町民センターにて「第7回 高台病院地域連携研修会」を開催いたしました。

当日は、高台病院第7病棟の川村師長より褥瘡（じょくそう）予防やケアについて、また、高台病院グループである足柄きんとき在宅クリニックの三嶽ソーシャルワーカーより訪問診療について、それぞれ講演を行いました。

地域の医療・介護に関わる皆さまにご参加いただき、当日は13施設・約20名の方々にご来場いただきました。

今回の研修会を通して、地域の皆さまと顔の見える関係を深めながら、患者さまやご家族が安心して療養生活を送れるよう、連携の大切さをあらためて実感いたしました。

今後も、地域の皆さまと力を合わせながら、よりよい医療・介護の提供に努めてまいります。



川村師長の講演



三嶽ソーシャルワーカーの講演